


1. 事業説明シート

事業名 急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業(国補)]		事業箇所 笛吹市芦川町鷺宿	地区名 天神原 (テンジンハラ)	事業主体 山梨県
--	--	----------------------	-------------------------	-----------------

(1) 事業の概要	①課題・背景 天神原地区は、山梨県の笛吹市芦川町に位置する急傾斜地であり、平成20年8月7日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は平均斜面高75m、平均勾配38度の急傾斜地で、保全対象には人家4戸、要配慮者利用施設かつ避難場所である芦川ふれあいプラザ、主要地方道笛吹市川三郷線(第二次緊急輸送道路)があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。		(3) 事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない																																					
	②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績 無 ・保全人家戸数 人家4戸、要配慮者利用施設1戸(換算4戸) 換算後合計8戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無: 有(芦川ふれあいプラザ(避難場所)、県道)(保全対象=人家4戸、芦川ふれあいプラザ(要配慮者利用施設 換算4戸)、県道L=120m) ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 被災時の被害波及の防止(緊急輸送道路)																																							
	③経済的妥当性 <table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>220 百万円</td> <td>工期</td> <td>R6~R13</td> <td>基準年</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>181 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">659 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>181 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">129 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">60 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">454 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td></td> <td colspan="2">3.6</td> </tr> </table>			総事業費	220 百万円	工期	R6~R13	基準年	R5	経済効率性	費用	181 百万円	便益	659 百万円		建設費	181 百万円	一般資産被害抑止	129 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	16 百万円				公共土木施設等被害	60 百万円		B/C			その他※	454 百万円					
総事業費	220 百万円	工期	R6~R13	基準年	R5																																			
経済効率性	費用	181 百万円	便益	659 百万円																																				
	建設費	181 百万円	一般資産被害抑止	129 百万円																																				
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	16 百万円																																				
			公共土木施設等被害	60 百万円																																				
B/C			その他※	454 百万円																																				
				3.6																																				

(2) 整備内容	①整備内容 崩壊土砂防止柵工 H=5.0m L=120m		④事業実施・規模の妥当性 地形条件を考慮し、必要最小限の規模とした。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	
	②着手年度 令和6年度	③完成見込年度 令和13年度	⑤整備手法の有効性 地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	
	④総事業費 約220百万円 (国費105百万円(4.75/10) 県費105百万円(4.75/10) その他10百万円(0.5/10))		⑥環境負荷等への配慮 環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	
	⑤年度別の整備内容 (事業費)		⑦事業計画の熟度 地元要望に基づいており、笛吹市から受益者負担金について同意を得ている。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない	
	令和6年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	(4) 事業位置図等 
	令和7年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円	
令和8年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円		
令和9年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円		
令和10年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円		
令和11年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円		

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費
・未整備

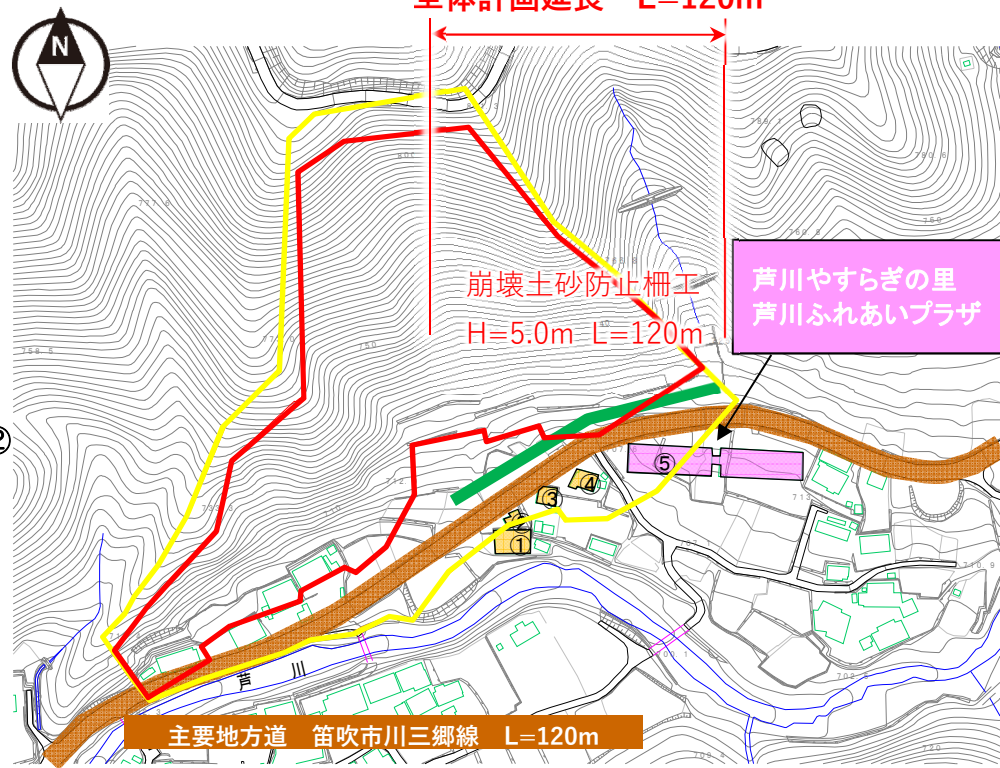
総合評価 [貢献度ランク: a]

2. 添付資料シート

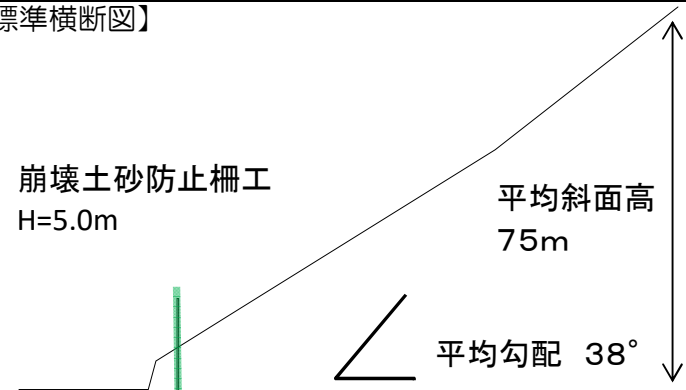
【斜面鳥観図】



【平面図】



【標準横断図】



①保全対象



②斜面状況

